

條件

才三有也案あり才三有也案

此兩案ヲ對照スルトキハ一目ニテ公意ノ成

立案件ト有効案件トヲ區別ニ基キ上世効ナリ

公意ト瑕疵アル公意即チ取消ニ得ルキ公意

トヲ能ク區別スルヤ得ルニ

無効ノ公意ト取消ニ得ルキ公意トノ別ハ

許多ノ大義モアリ

公意ノ無効ナリトキ即チ公意ノ成立セザル

トキハ其無効ノ結果を知る公意モノリシテ

特ニ裁判スル之ヲ請求スルコトヲ要セズ味

裁判スル身既無効ナリトトテ宣告ス

檢
七
六九二三
拾版三十

ハキノシ又者事者ハ各他ノ一方ノ別シ其公

意無効ノ申立ヲ為シ以テ其執行ヲ免カシレ既

ニ執行ヲ了リタル中ハ之ヲ回復スルコトヲ

得ヘシ是レ此無効ハ絶対的ナリト謂フ所又

ナリ又此無効ノ合意ハ時日ノ経過若クハ免

事者ノ意思ヲ以テ要ラ有効ナラシムルコ

トヲ得ズ若シ此ノ目的ヲ達セント欲セハ

更ニ契約ヲ為スコトヲ要ス

之ニ反シ合意カ單ニ取消之得ルキモノナル

中ハ其取消ハ裁判所ニ請求シ其認可得ル由

ソルヲ要ス又此請求ヲ為スヲ得入者ハ瑕疵

アリ或迄ヲ為シタル者事者又一無効カナル

此書者ハ...

社ハ明示若クハ黙示ノ認識ヲ以テ神面ニ
コトヲ得

又合意ノ成立ノ条件ハ其有効ヲ必要ナリト
雖モ其有効ノ条件ハ其成立ヲ必要ナラズ然
レモ此義莫ハ才ニ五條ニ充テ之ヲ以テ
シテ凡ク必テ敢テ整弁ヲ要セズ事有効ノ案
件ハ其成立ニ必要ナ合意ノ成立及テ有効ノ
諸条件ノ順次律文ニ指定スルモ王位等ノ案
件ハ互ニ互依ヲ有スルカ故ニ才ニ五條及
テ才ニ五條ヲ指示シテ人順節ニ送ヒ其大
意ヲ要後也凡ク必要ナリ

甲一 合意ノ成立ノ条件

(一) 素込。素込ハ意旨ノ念込ナリ。即チ者事

者取方ノ目一ノ感懐ナリ而シテ素込ハ念意

ノ成立ト必要ナルヤ其念意ト定義ヲ同クス

ルヲ見ルモ亦取ルキナリ蓋シ念意ヲ為サ

シトスル時ト先テハ通常者事者ノ一方也

リ言込ヲ為スモノトシテ他ノ一方ノ外尚ホ

二重ノ条件完備スル中ハ念意成立スルナリ

小形ノ為シテ意旨ノ念込トシ得ルナリ

ハ後ノ私案ト之ヲ指定ス

(二) 目的。念意ノ成立ト必要ナリ。二ノ要素

ハ目的ナリ。第一九十六條ト掲ケタル念意

ノ定義ト採ルハ目的トハ物根ト人根トナリ

利ハ亦能動ノ之格及ニ所動ノ之格ヲ有スル
 ト共ニ其目的ヲ有セサルカラズ是ヲ以テ
 托利ノ目的ヲ指シテ合意ノ目的ナリト墨子
 之ルコト甚ク多シ此托利ノ目的ハ牙云々也
 余ト依ルニ確定ノモノナシト要ニ且是事者
 ノ處ニ托リ有スルモノナシト要ニ
 例ニハ義者即今合意ノ目的ヲ割没スルト是
 ノ其氣者ノ目的或ハ之ヲ為スル在ルキハ
 其儀為ヲ十分ニ指定シ以テ傍托者ヲ以テ傍
 托者ノ所シタル所ヲ起過スルモノヲ要スル
 得サラシメ又傍托者ヲ以テ傍托者ノ得シ
 コトヲ要求シ得サラシメ期シタル所ヲ減ス

之場、其牙管ノ取圍ヲ減縮スルヲ得サラシ

ムルヲ要ス又一個ノ特定物ヲ与フハキキ

モ亦明ク之ヲ指シ以テ他物ト混同セサル

ヲ要ス又定量物ヲ与フハ其量同負教

又ハ尺布等ノ明確ニ定メサルハラズ

特定物ト定量物(一才十六条トノ外ト類又ハ種

ヲ以テ指シタル物アリ也其ノ一才物ヲ

指シタル者ハ頭ノ獸一幹ノ樹一箇ノ石

ト云フカ如ク其類ノ一才指シタルモノ

トセ又若シ其類ノ一才指シタルモノトキハ

債権者ハ指定シタル物トシテ履行ノ

最モ多キモノヲ要求スルハ又債権者ハ必ズ

最天多キモノ
要求之
又樹之
者ハ又

困ムト云ハ
河シ然レモ
一頭ノ馬
一頭ノ松一

尺立方ノ石又ハ大理石ト云フカ
如ク純ク以テ

テ物ヲ指定スルハ偶々十分十人
ト郁リ蓋

ニ土場金ト拉テハ固々
實地ノ事情ト使松若

ノ目的ト依リ合意ノ目的ヲ
確知スルコト

有ル河ニ然レモ亦合意ノ目的
十分ニ確定

也サルノ故ヲ以テ合意無効ト
テルコト最モ

多カレ河ニ

又目的ハ先事若ク處分松ヲ有スル
モノナラザ

ル河カラス處分松ヲ有スル
ノ語ハ買馬法以

来坎州諸君ノ法律ニ用セラル
融通物ナレ諸

ト為リ且融通物ノ定義トモ得
ルキモノナ

ラサルモノ有リ此物ヲ以テ合意ノ目的ト為
例ハハ各人ノ財貨ノ所有者ノ處分ヲ為シ

一キモノナルヲ以テ一般ノ融通物ナリト云

モ所有者外ノ人ニ在テハ不融通物ナリト云

他人ノ物ノ賣買ハ無効ナリト云フ所又ハ

テ所有者ニ非サル賣買ニ在テハ其賣買物ハ

不融通物ナリ然レトモ他人ノ物ヲ取得シテ

而レ後之ヲ讓渡サント約スルトキハ自

己ノ所為ヲ約シ為スノ事効ヲ得スルモノ

シテ有効ナリ

要スルニ本法ニ處分松ヲ有スルモノナル者

ヲ採用シタルハ處分松禁止ノ実係酌ノ性質

ヲ斟酌シタルモノナリ

付與スルモノキコトヲ約シタル物既ニ合意ノ際

減失シタレトキハ其合意ハ基本ニシテ
タレ^河キヤ敢テ明文ヲ待タズシテ
何トナシハ減失シタレ物ハ馳進スル^河得ス
又吾人ノ處分私ヲ有スルモノ^河モ
ナリ

ハ 原因ノ合意ノ原因トハ
合意ヲ承諾スルニ決意セシムル
為事者ノ貫徹セシコトヲ期シタレ
フ^河契約ハ^河授示^河ト為スモノニ
然^河ルキノ理由アリテ為スモノト
心情ノ満足全^河我^河上ノ満足文
ニトスルニ基^河因^河スルモノナリ
又ハ過失

ニトスルニ基固スルモノナリ
テハ金才上ノ満足ナリ又恩惠ノ地價ヲ有也

又且愛ヲ利益ヲ生セ又只社会ノ吉ムル自己

ノ地位又ハ或ル二二ノ人トノ交際上為久近

ノ或ル契約ト於テハ交際上ノ満足ヲ得ト

スルヲ原由ト又例ハ一地方ノ費用ノ為メ

或ハ建碑事業ノ為メ或ハ學藝若クハ文学ヲ

自納トスル結社ノ為メ職金スルカ如キ即チ

是ナリ又快聖或ハ奢侈ヲ目的トシテ為久合

意アリ 社

合意ノ原因少クハ右ニ述ハタル所ニ就テ見

ルハ明々ナリ此原因ハ莫美トシテ且合法ナ

ルヲ要ス 賤

合意申必ス其因ノ存スルモノ隋ルカ故ニ果
シテ其因ヲ有スルヤ又其因ハ合法ナルヤ
否ヤヲ研究スルニ及ハサルモノ隋リ即チ諸
般ノ有名合意ノ如キ法件ノ規定ニ係リ必然
原因アリ且其原因ノ合法ナルモノ、如キ是
レナリ故ニ賣買ニ於テ賣主合意ノ原因トス
ル所ハ其物ノ讓渡ノ補償トシテ一ノ金銭即
チ代價又ハ代價ノ讓渡ヲ取得セシトノ希望
ニシテ買主カ合意ノ原因トスル所ハ代價ノ
補償トシテ物ノ所有ヲ取得セシトスル
希望ナリ會社ニ於テハ董事者各々孤立互
ニシテ財産力ヲ利用スルヲ爲サス共同ニ

レハ原因ナシ若シ此場合ヲ控テ是事者原因
アリト得信スル中ハ錯誤原因アルモノシ
テ是事者双方共ニ原因ノ~~誤~~存セサル~~罪~~ヲ
知リタリシ~~中~~ハ假装ノ原因アリト又錯誤又
ハ假装ノ原因ハ之ヲ稱シテ虚妄ノ原因ト云
フ

別

不法ノ原因ハ最モ~~識~~易クシテ且~~ク~~有名合
意~~シ~~控ケルト無名合意~~ヲ~~控ケルト~~テ~~可ク久
主~~張~~女カラサル所ノモノナリ~~テ~~合意~~ノ~~要~~ヲ~~
ルニ~~至~~場合ヲ例示セシ~~テ~~一~~ハ~~是事者ノ
一方カ不法ノ所~~ヲ~~行~~ク~~可~~キ~~ヲ~~テ~~約~~シ~~タ~~ル~~
場合ナリ~~ト~~此所~~ヲ~~為~~シ~~ル~~ハ~~是~~レ~~是事者ノ為~~メ~~

場合ナリト祈為タルハ後者軍者ノ為メ
ト為スコトヲ得之何トナシハ後者軍者ハ其

目的ノ處分松ヲ有セズ此祈為ハ融通物ヲラ

サレハナリ又此祈為タル他ノ一方ノ為メハ

ハ其ボムル所ノ結果即チ違セントスルモ旨

ナリト免モ其旨タル不法ノ原因タルモノ

ナリト二者軍者カ合意ノ効力ノ在り又ハ一

方ヲ法禁ノ条件ト整ラシムル中ハ其合意ノ

原因不法ナリト又蓋シ条件ハ合意ノ原因ナ

ルカ故トモタル原因タルトキト從タル原因

タルトキトモ可ハズ不法ナルキハ合意ヲ

シテ無効ナラシムルモノナリ蓋シ若シ犯罪

ヲ為サハ若干因ヲ與フニコトヲ約スルモ犯

罪ヲ為シタルカ故ニ若干回ヲ許シト約スルモ

其罪~~中~~間~~中~~モ~~中~~變~~中~~ニ~~中~~是~~中~~矣~~中~~アラサルナリ

合意ノ原目ハ其遠目ト之ヲ混同ス~~ハ~~カラス

其~~中~~是~~中~~矣~~中~~ハ~~中~~牙~~中~~ニ~~中~~而~~中~~ハ~~中~~終~~中~~ニ~~中~~至~~中~~リ~~中~~之~~中~~ヲ~~中~~後~~中~~明~~中~~ス

(三) 方~~中~~中~~中~~。或~~中~~ル~~中~~允~~中~~意~~中~~ノ~~中~~成~~中~~立~~中~~ニ~~中~~ハ~~中~~方~~中~~式~~中~~ヲ~~中~~要~~中~~ス

ル~~中~~コト~~中~~有~~中~~リ~~中~~其~~中~~方~~中~~式~~中~~ノ~~中~~事~~中~~ハ~~中~~各~~中~~合~~中~~意~~中~~ニ~~中~~就~~中~~キ~~中~~之~~中~~ヲ

從~~中~~ズ~~中~~可~~中~~シ~~中~~蓋~~中~~シ~~中~~方~~中~~式~~中~~リ~~中~~一~~中~~級~~中~~合~~中~~意~~中~~ノ~~中~~論~~中~~據~~中~~ニ~~中~~属

又~~中~~ル~~中~~モ~~中~~ノ~~中~~ト~~中~~此~~中~~サ~~中~~シ~~中~~ハ~~中~~ナ~~中~~リ~~中~~

(Faint bleed-through text from the reverse side of the page)

第二 合意ノ有効ノ條件

（四）承諾ニ瑕疵ヲラサルコトの第三百五條ニ

承諾ノ承諾ト定メタル所ノモ只二箇アルノ

ニ錯誤及ヒ強暴即チ是ナリ詐欺ニ至テハ外國

ノ諸法典ニ於ケルト異ナリ之ヲ以テ承諾ノ瑕

疵ト為サス第三百十二條ニ於テ詐欺ハ之

錯誤ニ從ヒ或ハ錯誤ト混同シ或ハ賠償ヲ得セ

シタル單紙ノ加害所為トナルニ過キヤル説

明ス可シ但其損害ヲ賠償スルカ為メ合意ヲ取

消スコトヲ得ルト雖モ眞ニ承諾ノ瑕疵タル錯

誤アリタルトキニ比スレハ其性質ヲ異ニシ且

其効力小ナル可シ

（四）^二當事者ノ能力。或ル人ハ其特別ナル身分

ヲ以テ法律上其身上ト其財産トニ係リ或ル行

為ヲ為スノ能力ナキ者ト推定セラル本法ハ爰

ニ此等ノ人ヲ指定セズ第一編ニ之ヲ記載シタ

ル

（五）^川 欠損。合意取消ノ特別原因タル欠損ニ付

テハ此ニ詳細ノ説明ヲ為サズ欠損ハ當事者ノ

合自其供給スル所ノ利益ニ等シキ利益ヲ欲ス

ル有償合意ニ於テ一方ノ得ル所ノ利益甚ク甚

クナルヲ謂フ然ルニ公益ノ点ニ付キ之ヲ觀ル

ニ合意ハ尤モ鞏固ナラサルハカラサルカ故ニ

漫ク欠損ヲ以テ合意取消ノ原因ト為スハカラ

カカス知シ

34

台意ハ九毛筆居ナリサハカニカハカカ
曼、缺損ヲ以テ台意取消ノ原因ト為ス河カラ

ス是ヲ以テ外國法典ニ於テハ成年者ノ間ニ於
テ缺損アル為メ台意ノ取消ヲ認許スル場合ハ
唯ニ箇アルノニ不分財產ノ分割及ヒ賣主ニ損

失アル不動産ノ賣買即チ是レナリ

本法ハ缺損ニ因ル賣買ノ銷除ヲ許サス唯分割

ニ關シ之ヲ認ムルノニ然レトモ未成年者ノ為

メハ^{カカス知シ}缺損ヲ以テ諾般ノ台意銷除ノ一原因ト

且其損^{カカス知シ}ノ^{カカス知シ}決シテ^{カカス知シ}缺損ノ多ク少ク同ハ

未成年者ナル無能力者ノ缺損ヲ以テ台意銷除

ノ原因ト認ムルニ由リ^{カカス知シ}數多ノ難問ヲ生ズルヲ

以テ本法ハ力メテ之ヲ豫防シタリ^{カカス知シ}參觀第五

百四十八條

司
法
省

茲此一ノ緊要ナル注意ヲ喚起シ以テ合意ノ成
立及ヒ有効ノ諸條件ニ関スル説明ヲ完了セン
抑、合意自由ナル^ヤキハ法律ノ基本タル原則
ニシテ其適用ハ既ニ屢之ヲ示シタリ又次款、
於テモ此原則ヲ確認説明シ且其制限ヲ定^ルメ
リ然レトモ合意ノ成立及ヒ有効ノ條件ニ関シ
テハ此原則ノ適用甚^ク少^ク即チ當事者ハ合
意ノ成立ヲ多少不確定ナル事件ニ繫ラシメ以
テ其成立ノ要件ノ一ヲ加フルコトヲ得又法律
上^ノ缺損ニ目リ合意ノ缺除ヲ許ササル場合ニ於
テ之ヲ以テ^ク缺除ノ條件ト為シ或ハ法律ニ定メ
タルヨリ以下ノ^ク缺損ヲ以テ合意ヲ^ク缺除スル

之ヲシテ... 以下ノ缺損ヲ以テ合意ヲ銷除スルニ...

足レリトシ以テ有効ノ條件ノ一ヲ加フルコト

ヲ得、然レトモ當事者ハ合意ノ成立條件ニ

關スルト有効條件ニ關スルトト問ハス法律上

ノ條件ヲ減スルコトヲ得ス蓋シ成立ノ條件ハ

事物自然ノ理ニ出テ純理ニ基キテ

有効ノ要件ハ無能力者ノ保護ニ基クモノナ

リ然ルニ當事者監トシテ其保護ヲ拋棄シ就中

無能力又ハ承諾ノ瑕疵ノ為ニ合意ヲ銷除セ

シムルニ權利ヲ拋棄スルトキハ遂ニ法律ニ趣

旨ヲシテ母旨徹セサラシムルニ至ル可シ

三百六條ノ承諾ノ性質ハ既ニ十分説明シタル

ヲ以テ本條申入レ之ヲ示スノ要ナシ唯本條ニ

別取ス
その向
何

第

定ムル所ハ總當事者即チ要約者ト諾約者ト
ノ承諾アルコトヲ^非カシハ合意成立セサルコト
是ナリ然シトモ證人ノ如キニ至ルマテ總テ其
合意ニ與ヒ共スル者^ニ承諾ヲ要スルコト亦ス勿論
擔保者即チ保證人トシテ合意ニ與ヒ加スル者
ハ此資格ヲ承諾スルコトヲ要ストモ其直接
ニ關係セサル所ノ至タル合意ヲ承諾スルコト
ヲ要セ^カス
第二項ニ規定シタル場合ハ實際極^メテ鮮少
ナル可シ何トナシハ合意ヲ承諾スルコトヲ欲
セサル者ハ敢テ之ニ與ヒカラサル可ク就中證
書アルトキハ必ス其氏名ヲ記入セシメサル可

セカハ者ハ事テ之ニ此ノカニカハ口ノ京口
建ルアルトキハ必ス其ノ氏名ヲ記入セシメザル可

ケレハナリ然レトモ賣買又ハ借貸ノ相諾ヲ為
スニ當リ教人ニテ買主又ハ借主ト為ルコトヲ
欲シ而シテ合意決定ノ期ニ至リテ他ノ數名皆
既ハ承諾シタルモ只其中一名其決定ノ要件
ヲ承認セサルコトアル可シ而シテ屢々中ニ一
名承諾ヲ為ササルトキハ其合意ハ尙ニ其一名
ノ為メ成立セザルノミナラス他ノ當事者間ニ
於テモ亦成立セザルヲ以テ原則トシ合意ハ相
諾者數人ノ為メ分割ス可カラサルト推定ス然
レトモ反對ノ意思ヲ證スルハ法律ノ許ス所ナ
リ故ニ又證アルニ於テハ其合意ハ各同意者
間ニ成立スルモノト認定セラレルヲ得ヘシ此

子夜

第 三百七 條

場合ハ會社ノ如キ多人數ノ企圖ニ係リ後日其中ノ一人又ハ數人カ同意ヲ拒ムコトアリハキ事項ニ於テ屢見ル所ナル可シ

夫シ承諾ハ自餘ノ意思心上ノ行為ト同シク純然ク内部ノ行為ナリ然レトモ之ヲ表示スルニ非サレハ法律上ノ効力ヲ有スルコトヲ得ス且法律カ特ニ承諾ノ十分自由ニ且明瞭ナルコトヲ確保セント欲スル場合ニ於テハ公吏ノ面前ニ於テ之ヲ為スコトヲ要ストセリ是レ公吏ノ立會及ヒ其注意ハ當事者ノ為メ貴重ナル擔保ナルカ故ニシテ有或合意ノ場合ニ於テハ即チ然リトス其他ノ場合ニ於テハ

合ニ於テハ即チ然リトス其他ノ場合ニ於テハ

書面口頭ヲ以テスルハ勿論亦容態ヲ以テシ

當事者各自適宜ノ方法ニ依リ其意思ヲ表示ス

ルコトヲ馮羅馬法以來諸國ノ法律ニ於テモ理

論上容態ヲ以テ承諾ヲ表示スルコトヲ許シタル

リト雖モ纔カ、容態ヲ以テ表示シタル承諾ハ

裁判所ニ於テ之ヲ申立ルモ實際容易ニ之ヲ認

メサルヤ例ハ、當事者痛啞ナルモ尚ホ且其

文字ヲ書ルコトヲ知ラサルヲ要シ且痛啞者

ノ暗號ヲ知シ其智能ノ程度ヲ知スル證人

アリテ其十分合意ニ同意シタルコトヲ確證ス

ルヲ要ス故ニ本條ハ此矣、關シ弊害ヲ防クニ

足ルハキ十分ノ注意ヲ施シテリ蓋シ容態ノ外

別行

39

司、去、省

承諾ヲ表示スル方法アラサレバ場合アリ例ハハ
一ノ負傷者ニシテ談話筆書スル能ハサレ者
居所ヲ移轉セント欲シ必要ナル物件ヲ買収セ
ント欲シ備用又ハ寄託其^レ他緊当心ナル契約ヲ為
サント欲スルトキニ當リ親族故舊又ハ他人ノ
面前^ニ於テ之^ニ為シタル言込ニ對スル其承諾
ハ容態ヲ以テ表示スルコトヲ得セシメサルヤ
カラス縱令負傷者ノ意思自由ナルコトヲ確
證スルカ為メニ公吏ノ立會ヲ求メタルトキト
雖モ其承諾ハ必ス此不完全ナル方法ヲ以テセ
サルヲ得サル可シ

承諾ヲ為スル容態及ヒ拒絶ヲ為スル容態ハ諾

承諾ヲ為スノ容態及ヒ拒絶シ為スノ容態ハ諾

國ニ於テ殆ト同様ナリ又航海ノ際用スル所ノ

暗號アリ例ハ港ニ近クトキ水先案内ヲ依頼

シ又ハ危難ニ遇フタルトキ救援ヲ乞フ暗號ノ

如キ是レナリ此等ノ暗號ニ基キテ勞役又ハ

救援ヲ為スハ是レ亦合意アリト謂フコトヲ得

ハシ

容態ヲ以テ表示スル承諾ハ黙示ノ承諾ト稱セ

ガルヲ通例トス何トナシハ容態ハ言語ノ代用

ヲ為スモノナレハナリ然レモ法律ハ猶モ外

形ノ所為又ハ緘黙ニ依リテ承諾ヲ黙示スルコ

トヲ認許シタリ外形ノ所為トハ請求ヲ受ケタ

ル勞働又ハ供給ノ全部又ハ其一分ノ執行ノ如

司 法 省

キヲ謂フ又書^言込ヲ受ケタルニ當リ其執行ノ請
 求ヲ為シタルトキノ如キモ亦受^{黙示}諾アリト為ス
 可キナリ又合意ヲ為スノ目的ヲ以テ商議シタ
 ル後定期内ニ拒絶ノ旨ヲ通告セサレハ黙示ノ
 承諾アリト看做之可キ旨ヲ承認シタルトキハ
 緘黙ヲ以テ承諾ニ等シキ効アリト為ス可シ然
 レトモ當事者ノ一方ハ他ノ一方カ定期内ニ拒
 絶ノ旨ヲ通告セサルトキハ承諾アリタリト看
 做ス可キ旨ヲ命スルコト能ハス斯^ルノ如キハ全
 ク不当ノ希望ナリ然レトモ承諾ヲ為ス可キ期
 限ヲ定メテ言込ヲ為ス可^ル當^リ若シ其期限ヲ經
 過スルニ於テハ其言込ナキモノト看做ス可シ

過スルニ於テハ其言込ナキモノト看做ス可シ

ト言込ムコトヲ得

第三百八條

本條ハ書信又ハ媒介ニ依テ取結フ

合意ニ適用スルモノナリ蓋シ最モ緊要ナル商

業上ノ賣買ヲ為スニ當リテハ諸大都會ノ間其

距離遠隔セルニ因テ幾シト常ニ此方法ニ依ル

モノナリ而シテ或ハ賣主ヨリ先ツ言込ヲ為ス

コトアリ此場合ニ於テハ買主ノ受諾アリタル

トキニ非サレハ合意組成スルコトナシ又或ハ

買主ヨリ代價ヲ指定シテ商品ヲ求ムルコトアリ

リ此場合ニ於テハ賣主ノ受諾アルニ依テサレ

ハ賣買契約成立セス

本條ハ主トシテ民事ニ関シテ設ケタルモノナ

リト雖モ亦商法ニ於テ反對ノ規定ヲ為サザル
限ハ商事ニモ之ヲ適用ス可シ

當事者先ツ書信ヲ送り而後其意思ヲ變更セザ
ルトキハ他ノ一方ノ受諾何レノ時ニ在リ以テ
合意ヲ成就シタルヤヲ探求スルコト概シテ其
益無効ル可シ唯受諾ノ日ノ市價ヲ以テ取引物
ノ代價トス可キトキノニ總ニ受諾ノ時ヲ知ル
ノ必要アルト過キス然レトモ其受諾ノ時日ニ
接近シテ言込ノ取消モアリタルトキハ果シテ
其受諾ノ効アリヤ否ヤヲ定ムルコト緊要ナリ
今偏ニ純理ニノミ依シハ夫ノ供給又ハ需要ノ
言込ノ受諾アルマテ繼續シ受諾ノ時ニ存在ス

本項ノ原
文ハ別紙アリ

本項ハ大原
今備ニ純理ニ
言込ハ受諾アルマテ
繼續シ受諾ノ時ニ存在ス

殊ニ
旧原案ニ存
セリ今在
其跡ヲ留メ
ス是レ簡ヲ
臆トシテ不
月ヲ致シタ
ノ嫌アルニ
シテ宜ク旧
ミ復スハレ
蓋シ云々位
置木容々
レテ前句ヲ
承ケス是レ
亦宜ク改竄
ス可シ

40

ルニア^非ラサレハ承諾ヲ組成スルモノニア^非ラス
蓋シ供給又ハ需要ノ言込ハ之ヲ取消ササル限
リハ同一ナル意思ノ^道継続ニ因リ終始維持確認
セラレタルモノト見^道做ス^可シ然レトモ未タ受
諾アラサル間ハ常ニ言込ヲ取消スフトヲ得何
トナレハ^箇一個ノ意思ヲ表示シタルノミテテハ
未タ當事者各自^権権利アラス又義務アラサレハ
ナリ若シ言込ノ言消ヲ為ス能ハサルモノト為
サント欲セハ言込ヲ為シタル者力^能ニ^能述ヘタ
ル如ク或ル時間之ヲ取消ササルコトヲ約シタ
ルヲ要ス^出出場合ニ於テハ其言込ヲ若テ豫約ト

云フ

司
法
省

然レトモ既ニ言込ヲ受諾シタル以上ハ復之ヲ
取消スコトヲ得ス何トナレハ合意已ニ成レハ
ナリ然レトモ亦單ニ意思上ノ受諾ヲ以テ足シ
リトセヌ

然ラハ則チ受諾ニ言込ヲ為シタル者ニ到達シ
タルトキ始メテ其効ヲ生ス^可キカ是レ極端ニ
走ルモノト謂ハサル可カラヌ若シ果シテ然リ
トセハ更ニ受諾人ニ於テ其受諾力言込人ニ到
達シタルヲ知ルコトヲ要スルニ至ル可レハナ
リ

然レトモ既ニ言込ヲ受諾シタル以上ハ復之ヲ
取消スコトヲ得ス何トナレハ合意已ニ成レハ
ナリ然レトモ亦單ニ意思上ノ受諾ヲ以テ足シ
リトセヌ

然ラハ則チ受諾ニ言込ヲ為シタル者ニ到達シ
タルトキ始メテ其効ヲ生ス^可キカ是レ極端ニ
走ルモノト謂ハサル可カラヌ若シ果シテ然リ
トセハ更ニ受諾人ニ於テ其受諾力言込人ニ到
達シタルヲ知ルコトヲ要スルニ至ル可レハナ
リ

是ヲ以テ本條ハ言込ノ言消ノ報ノ違スルニ先
 ヲテ受諾ノ報ヲ發シタルトキハ其受諾有効ニ
 シテ言込ヲ言消スコト能ハストセリ(第一項)是
 ヲ以テ受諾ヲ為ス者ハ言込ノ言消ノ報接セサ
 ルニ先々テ其受諾ノ報ヲ發スルヤ必ス權利ヲ
 得ルモ言込ヲ為ス者ハ受諾又ハ拒絕ノ報ニ接
 セサル間ハ確然タル位置ヲ有セサル^{九故}受諾ヲ
 為ス者ノ位置言込ヲ為ス者ノ位置ニ比シ優レ^テ
 リト雖モ其位置ノ相異ナルハ當然ノ事ト言ハ
 サル可カラス何トナレハ事ヲ發起スル者ハ自
 全ノ者ヨリ一層久シク不確定ノ位置ニ在ル可
 キヤ自然ノ理ナレハナリ

司
 法
 省

受諾ノ發達ト言明ノ到達ト前後ニ關スル證據

ノ困難ニ至テハ何レノ主義ヲ採ルモ必ク之存

スルモノコシテ書信ヲ以テ取引ヲ為スル當リ

テハ決シテ免カレサル所ナリ

言込ヲ為スル當リ又ハ其以後受諾ヲ為スル

期間ヲ指示シタルトキハ(第二項)即チ言込人

其期間其言込ヲ言明ガサルコトヲ默約シタルモ

ノトス

其ハ斯ノ如ク當事者ノ一方自己ノ意思心ノ目

リ先方ノ受諾アラザルニ既ニ義務ヲ負擔スル

ハ少シク怪ム可キニ似タリト雖モ亦他人ノ損

害ヲ加ヘタル者ハ其責ニ任ズルコト原則ニ就

テ考フレハ其不當ナラサルヲ知ルヤシ蓋シ受
 諾ノ期間ヲ定メテ言込ヲ受ケタル者ハ其期間
 内ニ受諾スルハ準備ヲ為シ之カ為メ他ノ取引
 ヲ為ササル事^有ル^ハ然ルニ言込人漫ニ其期
 間^消ヲ為ストキハ之ヲ受ケタル者更ニ他ノ
 取引ヲ為サント欲スルモ已^誤機曾ヲ失ヒ為メ
 ニ損害ヲ被^レタルニ至ル^ハキナリ

第三項ハ第二項ノ結果ニシテ敢テ説明ヲ要セ

ス

第四項ハ受諾者其意思ヲ變シタル場合ヲ規定
 スルモノニシテ言込人未ダ受諾ノ報ニ接セザル

以上ハ受諾者其意思ヲ變スルニモ有効ナリト

セリ之ヲ以テ受諾ノ報一同時ニ言消ノ報到達
スルトキハ受諾ノ報與効ナリ加之言消ノ報受
諾ノ報ニ先チ到達スル事有ル可シ
第一項ノ場合ニ於テモ亦言消ノ報與効同時ニ
到達シタルトキハ言消ノ効アリモノトス
第五項ノ場合ニ於テモ亦言消ノ効アリ凡ソ合意
ハ當事者ヲ羈束スルカ如ク亦其相續人ヲ羈束
スルモノトシテ當事者ノ一方若クハ双方死去
シ若クハ無能力ト為ルモ之カ為メ合意ノ効ヲ
損スル所無シ是レ一般ノ原則ニシテ後ニ至リ
説明スル處アル可シ唯代理會社雇傭契約ノ如
キ二三ノ契約當事者一方ノ死去株主皆存存若ク

十二三ノ契約當事者一方ニ死去シ其後遺言ニ若ク

ハ無資力ニ因リ解除スルハ例外則タルノコ

然レトモ契約ニ付キ例外則タル處ハ言込ニ付

キ本則タリ抑モ言込ハ未タ法律上ノ期間ヲ割

設スルモノニ派ス唯意思ノ継続ニ因リ俱ニ継

続スルニ過キス然レト一人ノ意思ハ遺言ニ依

ル外其人ノ死去後ニ効力ヲ生スルモノニ派

ラス又禁治産者ノ意思ハ法律上ノ價格ナク又

破産者ノ意思ハ其債権者ノ利益ノ為メニ限制

セラルルカ故ニ言込人死去ニ又ハ無能力ト為

ルトキハ其言込自ラ効ヲ失フ可キナリ

然リト雖モ死去シタル人ノ相續人若クハ無能

力ト為リタル者ノ代人言込ノ効ヲ喪失セシム

司
法
省

ル處ノ事變ヲ先方ニ報セサルトキハ先方
情ヲ知ラスシテ歿シタル受諾ヲ有効トセサ
ル可カラス然ラスンハ受諾者ハ徒ラニ受諾ヲ
為シ之カ為メニ不正ノ損害ヲ被ル可シ

且法文ニハ明記セサルモ此矣ニ付キ解釈上一ノ

區別ヲ為ササル可カラズ即チ受諾ノ為メ期間
ヲ示シテ言込ヲ為シタルトキハ受諾者言込人
ノ死去若クハ無能力ヲ知テ受諾ヲ為スモ其期
間内ニ在テハ受諾ノ効アリ何トナレハ此場合
ニ於テハ既に片務ノ義務存スレハナリ

法文ニハ言込ヲ受ケタルモ死去シタル場合

合テ規定セスト雖モ其人ニ着眼シテ言込ヲ為

シタルニ派井ル限ハ相續人之ニ代テ受諾ス
ルヲ得ルヤ明クニシテ之レ敢テ法文ヲ要セザ
ル處ナリ又言込ヲ受ケタル者無能力ト為リタ
ル場合ニ於テモ法律上若クハ裁判上ノ代人
ニ代テ受諾スルヲ得ル

末項ニ至テハ亦宜ク一ノ區別ヲ為シ適用ス
ルキモノナリ即チ差出人其郵便若クハ電信ノ

差出方ニ付キ懈怠アルトキハ差出人其結果ヲ
被ル可キヤ當然ナリト雖モ意外ノ事若クハ

不可抗力ノ為メ到達ノ遅延之ルカ又ハ到達ヲ
ラサルトキハ名宛人危険ヲ負担ス可シ何トナ

レハ郵便若クハ電信ハ其發送後名宛人ニ屬ス

ルモノナシハナリ

第三百九條

當事者ノ一方幼稚ナルカ劇性ナル癲狂^病ノ
 又ハ熱病ノ為メ人事不肖^者ナルニ因リ毫モ權利
 行為ヲ辨識セズ意思ノ絶無ニシテ承諾全ク欠
 缺スル場合ニ付テハ敢テ法律ノ規定ヲ要セズ
 其承諾ハ瑕痲アルニ^非ズシテ毫モ損セサルヤ
 明カナルカ故ニ本條ハ此場合ヲ規定セス此ノ
 如キ場合ニ於テ承諾ノ絶無ナルヤ否ヤハ宜シ
 ク裁判所各事件^件付キ認定ス可キ所ナリ
 然シ^{トモ}外面承諾アルニ似テ其承諾ヲ阻却
 スル或ハ錯誤ニ由テハ法律ニ認定セサル可カ

然し... 法律... 規定... 可か

ラサレモノト着做シ本條ニ之ヲ規定シタリ殊
ニ錯誤ニハ僅カク承諾ニ瑕疵ヲ付シ之ヲシテ
單ニ取消スコトヲ得ヘカラシムルモノアリ又
毫モ承諾ノ効力ヲ損セサルモノアリ以テ其
承諾ヲ阻却スルモノヲ明定スルハ一層必要ナ
リ歐洲諸國ノ法律ハ承諾ノ權利ヲ概不學議ニ
委スルモ是レ弊害ナキ能ハサル處ニシテ且事
實問題ニ屬セス法律問題ニ屬スル處ヲ規定セ
ザルトキハ立法者其任ヲ尽サスト云ハザルヲ
得ザル可シ

本條ニ列擧スル錯誤中四箇ハ其性質及ヒ程度
重クシテ錯誤者ノ承諾ヲ阻却スルモノナリ他

司
法
省

ノ一ハ之ニ及ヒモ毫モ合意ノ効力ヲ損セサルモ

ノナリ

①合意ノ性質ノ錯誤ノ當事者ノ一方ハ一方

ヨリ言込タル契約ハ賣買ナリシコ他ノ一方

於テハ交換ヲ為スト思量シ或ハ一方ハ貸借

無償契約ヲ為スト思量シ或ハ一方ハ他ノ一方

ヲ以テ連帶債務者ナリト思量セシコ他ノ一方

ハ保證人ノ義務ヲ負担スルノ意思思マレ止マ

リシトキノ如キ即チ合意ノ性質ニ係リ錯誤ア

ルモノナリ蓋シ此ノ如キ錯誤ハ實際生スル

ト断言ス可キヤ疑ナシト雖モ亦絶テ之シ無シ

ト断言ス可カラス例ハ一箇ノ合意ニ付テ豫メ

相談ヲ為シ而シテ其決意ヲ為スニ當リ完全ナル證書ヲ以テセスシテ一ノ書狀ヲ以テシタル如キ場合ニ於テハ間此ノ如キ錯誤ヲ生ズルハ可シ其等ノ場合ニ於テハ當事者各々着眼シタル處ノ合意異ナルカ故ニ意思ノ合致即チ承諾アラサルヤ明カナリ

(五) 合意ノ目的ノ錯誤ノ例ハ賣買ノ如キ合意ヲ為サントスルニ當リ順次且各別ニ數考ノ物件ニ付キ先ツ相談ヲ為シ而シテ最後ニ買主ヨリ書面ニテ相談ノ趣ヲ承諾セシ旨ヲ答ヘ言込タル物件ノ一ヲ買取ルハシト思量シ賣主ハ他ノ物ヲ賣渡スルシト思量シタルトキノ如キ

ハ即チ目的ニ係ル錯誤アルモノニシテ此場合
ニ於テハ亦音意ノ合致アラサルナリ但此錯誤
ハ次條ニ規定スル所ノ物質ニ係ル錯誤ト混濁
セサルコトヲ要ス

(波) 合意ノ原因及ヒ緣由ノ錯誤ノ合意ノ原因
ニ係ル錯誤ト其緣由ニ係ル錯誤トハ其大ニ
其結果ヲ異コスト雖モ其性質甚ク相似タルモ
ノナリ

原因ニ係ル錯誤ハ皮相視スレハ實際ニ絶テ之
レ^熱キカ如シ蓋シ先ニモ説明シタルカ如ク有
名合意ニハ其性質上必ス原因ノ存スルモノニ
シテ其原因タル法律ニ認メタルニ依テ觀ルモ

モノニシテ之ニ関シ錯誤アルコト一層多シ是
ヲ以テ其原因或ハ錯誤ニ出テ或ハ虚構ニ係ル
コト有リ或ハ不法ナル下有リ然リ而シテ本條
ニ定ムル處ハ原因ノ錯誤ニ出テタル場合ノミ
何トナレハ承諾ノ成立セサルハ獨リ其場合ノ
ミニ限リシハナリ例ハ更改ヲ為スニ當リ當事
者ノ一方ハ新義務ヲ帯ヒ以テ其嘗テ負擔スル
義務ノ一ヲ免カレ可シト思量スルニ債權者
ハ之ヲシテ他ノ義務ヲ免カレシム可シト思量
シタルトキノ如シ蓋シ此場合ニ於テハ素ヨリ
更改ノ原因ヨリ加之債務者ハ未タ消滅セサル
數多ノ債務シ有ルカ故ニ數多ノ原因存スル

事ナル可シト雖モ同一ノ原因ニ付キ意思ノ合
 致アラサルカ故ニ承諾ヲラサルモノトス
 又本條ハ緣由ニ係ル錯誤ハ合意ノ無効ヲ致ス
 モノニ非サルコトヲ明記シ以テ學說上重要ナ
 ル点ヲ所定シタリ蓋シ緣由ニ係ル錯誤ハ承諾
 ヲ阻却スルモノニ非ラス之ニ瑕疵ヲ付スルモ
 ノニ非ラス縱令當事者ノ一方ニ於テ詐欺ヲ行
 ヒ之カ為メ他ノ一方ヲシテ緣由ヲ誤ラシメ
 タルトキト雖モ猶ホ本法ノ主義ニ因シテ承諾
 ノ瑕疵アリト言フ可カラス唯不正ノ損害アル
 ニ非スレテ賠償ヲ為スノ義務ヲ生スルキハ此
 此事タル詐欺ノ事ヲ説明スルニ當リ之ヲ詳述

教多ノ責務シ有スルカ故ニ教シノ原因存スル
 力之債權者ニ未タ消滅セサル
 同法省

ス可シ

是ヲ以テ合意ノ原因ト緣由トハ能ク之ヲ區別スルヲ必要トス

蓋シ合意ノ原因モ緣由モ與ニ當事者ヲシテ合意ヲ為スハ決意セシムル所ノ理由ナリト雖モ原因ハ其直接ノ理由ヲ謂フモノニシテ緣由ハ其間接ノ理由ヲ謂フモノナリ

俗語ニ於テハ原因ト云ヒ緣由ト云フモ與ニ同

一ノ意義ヲ有スト雖モ法律語トシテ之ヲ用

ルトキハ須ラク之ヲ區別スルヲ要ス而シテ

法律上之ヲ用ルモ亦共ニ行為ノ理由ノ謂ナ

リト雖モ其異ナル所ハ行為トノ關係の直接ナル

ト間接ナルトニ在リ且合意ノ原曰ハ概專唯一
アルノシナレトモ緣由ニ至テハ其愈間接ナル
モノヲ探究セハ其數愈多シトス

原因ト緣由トノ異ナル所夫レ斯ノ如ク今其適
例ヲ示シ次テ緣由ニ係ル錯誤ハ原曰ニ係ル錯
誤ト異ナリ無効ノ原曰ニ非サル所以ヲ説明ス

例ハハ不動産ノ賣買ニ於テ合意ノ原曰如何ヲ
釋シハ賣主ニ在テハ代價若クハ代價ノ債權ヲ

得ルヲ希望ニシテ買主ニ在テハ所有者タルヲ

希望外リ然ルニ賣主及ビ買主各其財産ヲ以テ

他ノ財産ニ轉換スルノ理由ニ至テハ果シテ如

何是し各自ノ便宜利益ニ基キ其人一身ニ限ル
理由ニシテ法律モ對テ干渉ス可カラ
ナルモノナリ蓋シ賣主ハ其代價ヲ以テ或ハ商
業ヲ營ミ或ハ工業ヲ企テ或ハ之ヲ貸與ニシテ利
息ヲ得或ハ不動産ノ收入ニ比シ収得ノ一層確
然且容易ナルヲ用方ニ供セントスルコト有ル
可シ又買主ハ不動産ヲ買入シ以テ其元本ヲ貸
借ノ為メ損失スルヲ危険ヲ免カレント欲シ或
ハ商店若クハ工場ヲ設置セント欲シ或ハ單ニ
自己ノ住宅ニ供セント欲スルコト有ルハ是
レ即チ合意ノ理由タルモノナリ其
又贈與ニ於テ贈與者カ原因トスル處ハ其親戚

若クハ故舊タル受贈者ハ利益ヲ與ヘントスル
ハ希望ナリ然レトモ其之レハ利益ヲ與ヘント
スルニ至リタリ理由ハ受贈者ノ貧困ナルカ為
メナルカ將テ贈與者膏テ受贈者若クハ其先
代ヨリ恩誼ヲ蒙リタルカ為メナルカ是等ノ理
由ニ至テハ千狀萬態ニシテ枚舉ニ暇ヲラス
各當事者ノ理由トスル所ヲ知ルヲ得ル者ハ獨
リ本人ノミ
以上例示セル場合ニ於テ當事者ノ一方緣由ニ
付キ錯誤アルモ之カ為メ合意ノ結果ヲ免カ
ルコトヲ得ス若シ之カ為メ合意ノ結果ヲ免
カレバ得ルトキハ他ノ一方ヲシテ其與カラ

又贈與ニ於テ贈與者カ原因トスル恩ハ其親戚
又贈與ニ於テ贈與者カ原因トスル恩ハ其親戚

ナリシ過失ノ為メ損害ヲ被ラシムルニ至ル
可シ然レトモ他ノ一方詐欺ヲ行ヒ對手シテ
縁由ヲ誤ラシメタルトキハ此限ニ在ラス此
場合ニ於テ損害賠償トシテ合意ヲ取消スヲ得
ルニ至ルコト明リ(英省第三百十二條)
不) 身上ノ錯誤○凡ソ合意ヲ結フニ當リ對手
其人ノ如何ハ大ニ結納ノ理由ト為ルモノニシ
テ贈與ニ使用貸借寄託代理保證ノ如キ無償合
意ニ於テハ決意ノ主タル原因タルモノナリ此
場合ニ於テ當事者ノ一方他ノ一方其人ヲ誤ル
トキハ其合意ハ承諾ナキカ為メ又併セテ虛妄
ノ原因ノ為メ無効ナルモノナリ

が頂

借

列

有償合意ニ於テモ當事者ノ一方主トシテ他ノ
 一方ノ**技能藝術**ニ著眼シテ取結ク契約ニ付
 テハ人ノ身上ニ付テノ著眼ヲ以テ決意ノ原因
 ト為スコト^例ハ債權者一身ノ隨意ノ雇
 入ノ勤務ノ如キ又ハ工藝學術ノ執行ノ如キ作
 為ヲ目的トスル契約ニ於テハ即チ又身上ノ著
 眼決意ノ原素ノ一ト^例ハ有期ノ賣買債
 貸備利息^附貸借ノ如キ契約ニ於テハ無資力ノ
 危険アルカ為メ債務者ノ身上ニ著眼スルモノ
 ナリ又仕事受負契約ニ於テ要約者債務者ノ技
 術藝術ニ著眼セザルニ非ザルモ是^{其有}し唯附隨ノ

用應 終

原因ノ為メ無効ナリ
 其旨
 又付セテ
 債權者

司 法 官

原因ニ過キカレナリ

又結約者何人ハモトメテ身上ニ著眼セカレ場合アリ例ハハ

現金賣買質若クハ抵當アル利息付ノ貸借其他

一ニ利益ヲ旨トシ毫モ恩惠ノ意思ナク且毫モ

損失ノ恐レナキ契約ニ於テハ即チ然ルモノナ

リ

又前記ノ理由ニ因リ有償合意ニ於テモ債務者

債権者其人ヲ認リタルノニテハ概子合意ノ

効力ヲ損セカレモノトス蓋シ債権者其人如何

ニ依リ其訴追ヲ為スニ當リ寛嚴ノ度ヲ異ニス

ルコトアル可シト雖モ決シテ其債権額ノ外請

求スルヲ得ルモノニ非カレハナリ

求スルヲ得ルモノト云ハナリ

是ヨリ本條ノ摘要ヲ示サレテ身上ノ著眼ヲ以テ決意ノ理由ト為シタルトキハ其著眼ハ合意ノ原因タルカ故ニ其錯誤ハ原因ノ錯誤ニ外ナラスシテ承諾ヲ阻却スルモノナリ

例ハハ贈與者其親族ノ一人若クハ明友ノ子ニ贈與ヲ為サント欲シタルモ之ト面識ナキカ為メ双方ノ錯誤若クハ詐欺ニ因リ他ノ人其贈與ヲ受取リタリトセン此贈與ハ贈與者ノ承諾ナク原因虛ニナルカ為メ無効ナリトス又贈與者受贈者其人ヲ誤マリタルトキモ亦其贈與ハ無効ナリ蓋シ贈與者異ナルトキハ受贈者ニ於テ其人ノ德行乏モキト信シ又ハ

其財産ノ出必不正ナルヲ恐レシ之ヨリ贈與ヲ
受クルコトヲ承諾セサルコトアル可ケレハナ
リ

使用貸借ニ付テモ并同一ノ理由ニ因リ同一ノ論決
ヲ下ス可キナリ

代理ニ於テモ身上ニ付テノ着眼ヲ以テ又
方決意ノ原因トス蓋シ委任者ハ何人
ヲ尙ハス其利益ヲ委任スルモノニ非ス又
代理人モ其識ヲサレ人ノ為メニ代理ノ
業務ト責任トヲ受託スルモノニ非サレナリ
委託ニ於ケルモ亦同ニ
保証ニ至テハ債權者主クハ債務者及ニ

寄託ニ於ケルモ亦同シ

保証人ノ三者利害ノ關係ヲ有スルヲ以テ

何人カ錯誤シ又何人ヲ錯誤シタルカヲ區別

スルヲ要ス即チ債權者ニ於テ債務者若ク

ハ保証人ヲ錯誤シタルハ實力ノ点ニ付キ利

害ノ關係ヲ生スルニ過キサルヲ以テ此錯誤ハ

前ニ示シタル第二種ノ錯誤ニ屬シ本条末項

ヲ適要ス可キモノナリ又債務者債權者其

人ヲ誤マリタルハ其錯誤ハ第三種ノ錯誤

ニ屬シ合意ニ影響ヲ及ホスモノニ非ス又債

務者保証人其人ヲ誤マリタルハ其知ラサル

人若クハ其信重セサル人ヨリ恩惠ヲ受ケル

ヲ欲セサルヲ以テ故ニ債務者ハ他ハ保証

57

人ヲ出スルヲ得ヘリ其保証人ニシテ前保証人
ト同一ノ資力ヲ有スルハ債權者之ヲ拒
絶スルヲ得ズ然レモ保証人其保証スル外
ノ債務者其人ヲ誤リリルハ大ニ合意ニ
影射音ヲ及ホスモノナリ蓋ニ此場合ニ於テハ
一切ノ無償合意ニ於ケルカ如ク身上ニ付テ
ノ着眼決意ノ原因カ故ニ保証ハ承諾ノ欠
缺虚妄ノ原因ノ為メニ無効ナリ
之ヲ要スルニ有償合意ニ於テハ債務者ハ
身上ニ付テノ着眼合意ノ附随ノ原因タ
リ多ク決意ノ原因タリ甚ダ罕ナリ唯僅
カニ仕事ノ受員契約約居リハ債權契約ニ於

下多ク決意ノ原因タルト甚ク罕ナリ唯僅

テハ船舶ノ製造工廠ノ建築若クハ複雑ナ
ル器械ノ製造ノ如ク特種ノ學術ヲ要シ又ハ
會計役ノ任用ノ如キ篤実正直ヲ要スルコト
力故ニ身上ノ着眼ヲ以テ決意ノ原因ト為ス
ルコト也此等ノ場合ニ於テハ裁判所宜ニ其事
実ノ情况ヲ斟酌ニ就中仕事ノ若クハ役務ノ
性質ヲ考ヘ以テ當事者ノ意思ヲ認定ス
可シ

第三百十條

本條ニ規定スルルハ目的物本体ニ存スル錯誤
ニ非スニテ其物質ニ存スル錯誤ナリ此錯誤ハ
目的物本体ノ錯誤ニ比スルハ實際更ニ多ク

契約ヲモテ当然無効ナラシムルモ取消スルヲ
得ヘカラスモルモノナリ

然リ而シテ物質ノ錯誤ニ因リ承諾ニ瑕疵

ヲ及ボスハ錯誤ニ係ル物質多ク合意ノ原

因^{アムルモノナリ}ナラザル可カラス然カラスハ單ニ録

由ノ錯誤アルニ過キスニテ合意ノ効力ニ何等

ノ影響ヲ及ボスモノニ非ス然レモ其物質

決意ノ原因ナラザリシヲ要スル者ニ其決意ノ

原因ナリシハ合意ハ当然無効ナル可シ

故ニ錯誤ニ係ル物質合意ノ附随ノ原因ナ

ルニ足ル可キモ其決意ノ唯一ノ原因ナラザル

ハ其決意ノ原因ナラザルハ其決意ノ唯一ノ原因ナラザル

此是... 可... 其... 决... 意... 唯... 一... 原... 因... 之... 故... 也...

当事者力合意ヲ為スニ当リ期因ニタル也

ノ主タル物價ノ一ニシテ法文ニ依テ品價ナル

非カレバ家器ノ類ニシテ又...

品價トハ物体ヲ組織スル原素ニシテ礦物ト

植物トノ相異ナル即チ其品價ノ異ナルカ

故ニシテ又礦物ニ金銀銅鐵鉛石等ノ差アリ

植物ニ種々ノ樹木ノ差アリモ亦其品價ノ異

ナルニ因ル

素ヨリ当事者ノ一方合意ノ目的物ノ品價

ヲ誤ルル中ハ其錯誤輕カラスト虽モ是レ少

事者大ニ其品價ニ着眼セタル時ニ限ル然レニ

實際当事者之ニ着眼セサルニ往々之レ有

リ而モ尚小輕微ナル錯誤ノ為ノ過ニ契約
ヲ解除スルヲ得ルハ其當ヲ得タルモノニ非カ
ル可シ又之ニ及ニ物性價ニシテ品質ヲ得
テ決意ノ原因ト看做シタルモノアル可キカ故
ニ其錯誤ヲ措テ顧ミサル中ハ亦其宜ニテ得
タルモノト謂フヘカラサル可シ

是ヲ以テ裁判所ハ當事者ノ一方カ錯誤ニシ
ル品質若クハ品格果シテ之ヲ以テ決意セ
シタルモノナルヤ否ヤヲ審辨シ其決意ノ原
因ヲ以テ其ハ承諾ニ瑕疵アルカ故ニ其合意ヲ
取消ス可シ然レモ品質若クハ品格錯誤者ノ
合意ノ附随ノ原因タルニ過キカハ其合意

意ノ効力ヲ存スルニ但他ノ一方ノ詐欺ハ為ル
錯誤ニ陥リタル中ハ損害賠償ヲ求ムルコトヲ
得

此点ニ付キ本条ニ一ノ推定ヲ下シ品位ハ当事者
ノ決意ヲ助成スルモ品位ハ然ラザルモノト看做
スルリ但何レノ場合ニ於テモ及対ノ証據アル
ハ此限ニ在ラス

思想上ノ品位ニ至テハ形体上ノ品位ト同一視
モモ当事者ノ決意ヲ助成スルモノニ非ス
推定スルリ然レモ及証アル中ハ此限ニ在ラズ
合意ノ履行ノ時期及ヒ場所ハ当事者ノ一方
ノ決意ヲ助成スルモノト非ス故ニ此点ニ付

キ錯誤アル片ハ合意ノ取消ヲ求ムルヲ得ル
ル可カラズ

末項ハ書損ト称スル錯誤即チ算數氏名訛

書ノ日附又ハ場所ノ錯誤アル場合ヲ規定ス

ルモノニシテ第五百五十九条ヲ援用セリ蓋

ニ此錯誤ハ契約取消ノ理由タル可キモノニ非

ス唯証書改正ノ理由タルニ過キス而シテ其改

正訴權ハ時効ニ四推ルヲチキモノニシテ第五百九

十九条ニ至リ其理由ヲ說明ス可也

以上輕重ヲ異ニスル諸種ノ錯誤ヲ說明シタ

リ今其說明ヲ終ルニ臨ミテ一ノ注意ヲ喚起

セし御テ錯誤ハ其輕重ニ從ヒ合意ヲ求ムル

効テラレシ。或ハ單ニ取消ス。トテ得ヘカクシクト
 虽モ亦錯誤者ノ輕忽ニ出ル。トセズ又數
 之ニ有リトス。其對手ノ詐欺ニ出テタル場合
 ハ第百二十二条ニ規定スト。虽モ然ラス。レテ却
 テ錯誤者ニ多ク責ヲ歸スヘキ時ハ之ヲレテ
 對手ニ賠償ヲ為サシム可キヤ当然ナリ。蓋シ
 對手ハ其合意ヲ確定シテト着倣シ之カ為
 メ利益ヲ期シタリシ。他ノ錯誤ノ為メ其利
 益ヲ失ヒ或ハ之カ為メ他ニ同一ノ契約ヲ為ス
 ノ機會ヲ失フ。有ル可シ。此場合ニ於テハ錯誤者
 ヲ三テ損害賠償ノ責ニ任セシム可キヤ至當ナリ
 又或ハ之ニ及ビ當事者ノ一方詐欺ナキモ其過

失ノ為メニ他ノ一方ヲシテ錯誤セシムルヲアリ例
ヘハ書証ヲ以テ契物ノ言込ヲ為スニテヨリ目的
物ノ品類若クハ品格ヲ明示セザリシ中ノ如
キ即チ是ナリ此ノ如キ場合ニ於テハ裁判所ハ
錯誤ノ因テ起ル所當事者一方ノ過失ナルカ
將テ全ク意外ノ事情ナルカラ考察シ又過
失懈怠アル中ハ何レノ當事者ニ其責ヲ帰
ス可キカラ審査査セサル可カラス而シテ取消ヲ
請求スル者ニ懈怠ノ責アリタル中ハ之ヲシテ
對テ加ヘタル損害ヲ賠償セシム。尚ホ其過失
重クシテ取消ノ損害極メテ大ナル中ハ取消
ヲ認許セサルヲ得蓋シテ損害ヲ賠償ハシヨリ

之ヲ加へサルニ若カサルナリ

第三百十一條

論議アリ

本條ハ古來諸國ニ於テ難問ナリト重要ナルト
題ヲ断定スルモノナリ即チ法律上ノ錯誤ニ因
リ義諾ニ瑕疵アルカ為メ事實ノ錯誤ニ付定
メタル區別ニ從ヒ或ハ當然合意ヲ無効トシ
或ハ之ヲシテ取消ニ得ヘキモノナラシムルナリ
定ムルモノナリ

抑モ何人ナリト法律ヲ知ラスト看倣シカラ
ストノ格言ハ論者ノ概子原則ナリト称スル
一ツノモノナレト本條ハ法律ノ錯誤ノ為メ合
意ヲ攻撃すんナリ認許ニ以テ此格言ニ拘泥セ

58

カレトテ示シタリ唯々第三項ニ於テ此原則ヲ適用シタリト虽モ其適用ヲ至当ノ範圍ニ限定シ

本条ニ規定スル所ノ法律ノ錯誤ニ五種アリ或

ハ合意ノ性質ニ存スル^{錯誤四}或ハ其法律上

ノ効力ニ存スル^{錯誤四}或ハ其原因ニ存スル^{錯誤四}

或ハ其目的物ノ實質格ニ存スル^{錯誤四}或

ハ其約者ノ令限ニ存スル^{錯誤四}以下其適用

ヲ示シ逐次之ヲ説明セ

伊 合意ノ性質ニ関シ事實ノ錯誤アル場

合如何ノ前已ニ之ヲ説明シタリ

合意ノ性質ニ関シ法律ノ錯誤アルハ至当

合如任... 前已... 之... 誤日... 借誤... 入... 白...

者ノ一方契約ニ付ニカル名称ヲ誤スリタル
場合ニ在リ例ヘハ使用貸借ヲ消費貸借若
クハ貸貸借ト誤解シ或ハ貸貸借ヲ永貸
借ト或ハ保証ヲ連帯ト誤解スルカ如キ即
チ是ナリ斯ノ如キ錯誤アル場合ニ於テハ借約
者真ニ承諾ヲ為シタルモノニ非スシテ双方ノ意
思授合一致セサルヤ明カナリ

呂 契約ノ法律上ノ効力ニ付キ錯誤アリタル

中モ亦同一ノ結果ヲ生スヘシ但前ノ場合ト異

ナリ所ハ当事者賣買若リハ貸貸借ノ

如キ某某ノ有名合意ヲ為スコトヲ解スル

モ其効力ヲ知ラス若シ之ヲ知りシナラハ借

約セサル可キニ之ヲ知ラザリシカ故ニ諾約シ

ルニ在リ例ヘハ賣主法律上追奪担保ノ義

務又ハ隱シヤル瑕疵アルヲ知ラザル片ト雖モ

其担保ノ義務アルヲ知ラザリシ片又ハ貸

貸人貸貸物ノ平隠ナル占有ヲ担保シ且其

終始収益セシムルノ義務アルヲ知ラザリシ片

ノ如ク此場合ニ於テハ当事者者契約ニ因リ負

担スル義務ヲ詳知セシテ之ヲ取捨ハサ

カ又ハ一層高額ナル代價ヲ要約スルカ又ハ

代價ヲ減シテ特ニ其義務ヲ免カシ得

テ要約ス可カリシヲ証明スルヲ得

又賣主若クハ貸貸人法律ニ於テ特別ノ

ニ於テ其实例ヲ着見

方法律上旧義務ヲ負担セタリト信シ之ヲ免カ

レシカ為メ他ノ義務ヲ承諾シタルニ其後前義

務初メヨリ無効ナルカ又ハ法律上ノ相殺若ク

ハ混同ニ因リ消滅セタリシトテ發見セタリト

セニ此場合ニ於テハ事实上錯誤アルニ非ス之

ヲ支配スル法律ノ条項ニ付キ錯誤アルモノト

シハ所謂法律ノ錯誤アリ從テ新義務ハ虛妄

ノ原因ノ為メ即チ無原因ノ為メ無効ナリ

仁 契約ノ目的タル物ノ資格即チ当事者ヲ

テ決意セシメタル主タル性質ニ関シ法律ノ錯

誤アリテ有リ唯缺點ニ付テハ法律ノ錯誤アリ

テ決意セシムルハ主クハ性質ニ依リ法律ノ對
スルニ決意セシムルハ主クハ性質ニ依リ法律ノ對

ノ事實ノ錯誤ニ比シ一層少クシテ今實際多
ク生ス可キ場合ヲ挙げレリ當事者ノ一方目
的物ノ公有リル誤マリ取通物ナリト信シ又
ハ讓渡ニ得ヘカラセルヲ誤マリ讓渡ニ得ヘ
ト信シ又ハ法定ノ不動産ナル權利ヲ動
産ナリト信シタル場合ナリ斯ノ如キ錯誤
ハ事實ノ錯誤ト同シク當事者ニ損害ヲ
及ボスナリ

保又當事者ヲシテ決意スルニ至ラシムル人
ノ分限ニ付キ法律ノ錯誤アル場合アリ例ヘ
ハ相續人ニ承ケル親屬ヲ以テ相續人ト誤認
シ之ト共ニ相續ノ分割ヲ為シ又ハ債權者若

クハ債權者ノ相鏡人ト者認メタル者ト和
解ヲ為シタルニ其人相鏡人タルノ分限ヲ有
セサルニ因リ有効ニ和解スルヲ能ハサルヲ矣
見シタル中ノ如ク又賣主賣渡物ノ所有者
ヲラガルニ其買主ニ示シタル証書ヲ買主
ニ於テ誤解シタルヨリ賣主ヲ真ノ所有
者ナリト誤認シタル中ノ如キ若シ買主初
ヨリ事實ヲ知りシナラバ他人ノ物ノ賣買
無効ナルヲ以テ賣買契約ヲ為サレシヤ
明カナリ

以上序述セル場合ニ於テハ法律ノ錯誤皆契
約ノ原因ノ錯誤ニ歸着スト

以上序述セル場合ニ於テハ法律ノ錯誤皆契

ニテ其原因契約ノ主ナル原因ナル片ハ其契約

ハ全ク無効ナル可ク又單ニ附随ノ原因タル

ニ過キカル片ハ其契約ハ取消スルヲ得ヘキ

ノ法文ニ法律ノ錯誤ハ承諾ヲ阻却セ又

ハ其瑕疵ヲ成スト云ヘンハ即チ此区別アルカ

為メナリ

法律ヲ誤リタルモノニ加ヘタル本条ノ保護

ハ何人ナリ氏法律ヲ知ラスト看倣ス可カラス

ト云ヘン規則ト接觸スルカ如キヲ以テ之ヲ調

和セサル可カラス是レ本条第一項及レ第三項

ノ目的トスル所ナリ

既ニ事實ノ錯誤ニ付キ亦ヘタルカ如ク事實ノ

錯誤ヲ為シタル者スレ猶ホ其錯誤ノ責ヲ之レ

ニ帰スヘキト否トニ從ヒ多ク其錯誤ヲ結果ヲ

免カル、能ハサルヲ有リ法律ノ錯誤ニ至テモ

亦同様ナルノミナラス尚ホ其錯誤ハ一層宥

恕ニ難キモノナリ蓋シ法律ノ存否ヲ知り又ハ

其余項ノ意義ヲ知ルハ教テ難事ニ非ス^{蓋シ}

事者疑團ヲ抱リ^ハ直ニ^ハ多ク^ハ控^ハ駭^ハル^ハ人

ニ就キ^ハ質^ハ向^ハス^ハキ^ハナリ^ハ是^ハレ^ハ法^ハ文^ハニ^ハ裁^ハ判^ハ所^ハハ

宥恕ス可キ情狀アルニ非サレハ合意ノ無知

ヲ認許スルヲ得スレト云ヘル所ナリ

然レハ法律ヲ奉テ之ヲ知ルハ衆人ノ主ト必ス

之ヲ得テ能クスル所ニ非ス^ハ假令^ハ民法典アルモ

其文辭通俗（此亦其所以）力故ニ如何ニ其編纂多ニ
 意ヲ用スルモ未タ疑義ナキヲ期ス可カラズ
 法律家スラ猶ホ疑惑ヲ抱クコトアリ何レノ
 邦國ニ於テモ法学者裁判官共ニ法律ノ難問ニ
 苦シ其説ヲ異ニスルコト甚々多シ存邦ニ於
 テモ亦此結果ヲ免カルト能ハサル可シ故ニ法
 律ヲ誤マリタル當事者ハ唯ニ其善を為シテ
 ス法律ヲ知り其意義ヲ解スルヲ能ハサリシ
 理由ヲ証明シ以テ其錯誤ノ結果ヲ免カルコト
 ヲ得サル可カラズ此点ニ付テハ裁判所宜ク合
 意ノ日常行ハルモ一ナルヤ將々極メテ稀ナレ
 モ一ナルヤ原告ノ社會ニ在ル所ノ位置其法

然レ氏法律ヲ挙テ之ヲ知ルハ總人ノ主トシテ

律ヲ知ルノ手段アリシヤ否ヤヲ斟酌ニ且他
ノ當事者ニ加フ可キ保護ヲ酌量セサル可カラ
ス

何人タリ氏法律ヲ知ラスト看做ス可カラスト
云ヘル原則ニ至テハ第三項ニ之ヲ責罰失權
其他公ノ秩序ニ係ル法律ニ適用シタリ左ニ
其理由ヲ説明セシ

責罰ハ行為ノ性質上何人タリ氏直子ニ不正
ナリト見認ケルヲ得ヘリ從テ法律ニ禁シタル
行為ニ科スルモノナリ若シ事ノ善惡ニ付キ疑

アリハ須ラリ慎テ其事ヲ為サレル可キノ
時機若クハ法律ニ定メタル行為ノ遠或モ生

縦

スル失権ハ素ト權利ノ行用ヲ被ラレ可キ他
 ノ當事者ノ為メ又ハ公ノ秩序一般ノ安寧
 為メ定ムルモノニテ保護ノ主意ニ出ルモノ
 ナリ是ヲ以テ當事者一方ノ錯誤他ノ一方ニ
 損害ヲ及ボシ又ハ公衆ノ安寧ヲ害スルコトヲ
 許ス可カラズ例ヘハ法律不知ノ為メ時効ニ因リ
 權利ヲ消滅セシメ又ハ權利保存ノ為メ定ム
 タル訴訟手續ノ方式ニ從ハサリニ場合ノ如ク
 公ノ秩序ニ係ル法律規則ノ不知ナル語ハ其
 意義極メテ廣ク實際當事者ヲ以テ法律
 ノ錯誤ノ結果ヲ免カレシムルハ公ノ秩序ニ
 及スルヤ否ヤハ一人ノ裁判所ノ査定ス可キ所ナ

司
 法
 省

り今毫毛疑う容レサル实例ヲ挙ケルハ有
式契約ニ於テ履行スヘキ方式、不動産物権
ノ設定若リハ移轉ニ必要ナル云々利息ノ制
限ニ関スル法律ノ錯誤ノ場合ノ如キ即チ是
ナリ

尚此他法律ノ錯誤ヲ宥恕ス可カラザル場合
ヤリ例ヘハ他人ノ物ノ占有者ノ如キハ果実ヲ
取得シ又ハ短期ノ時効ヲ得ルカ為メ法律ノ
錯誤ヲ申立以テ其善意ノ理由ト為スル能
ハス